

中期収支概算(平成 21 年 7 月版)のポイント

○前回(20 年 10 月版)においては、

「市政改革の取組み」により、概ね収支が均衡する見通しであった

「市政改革の取組み」

・ 5 年間の削減目標(22 年度まで) ▲2,250 億円

・ 5 年間の達成見込み(22 年度まで) ▲2,408 億円(107%)

人件費の削減：職員数の削減、給料・管理職手当のカットなど

予想を超える景気悪化

歳入の減少：約 1,450 億円の悪化(21～29 年度の 9 年間)

・ 税収の減少

・ 地方消費税交付金等の減少

→地方交付税等の確保に努めても

歳出の増加：約 850 億円の悪化(21～29 年度の 9 年間)

・ 生活保護費の増嵩など

○今回(21 年 7 月版)は

30 年度に約 2,600 億円の累積赤字となる見通し

(参 考)

平成 21 年度当初予算時の見込みでは・・・

H21～23 年度までの 3 年間で

収入減：約 1,500 億円、収支不足：約 300 億円

今回の収支見込みでは、さらに・・・

・ 市税収入 約 770 億円の減少

・ 譲与税・交付金 約 30 億円の減少

約 800 億円の減少

地方交付税等で約 650 億円を確保したとしても

約 150 億円の収支悪化